



全国連絡会で講演する阿部弁護団長

される)等に反論できなくなった検察の悪あがきぶりが良くわかる内容でした。

その後全国の支援団体から次々に活動報告があり、茨城もできたてほかほかの34番目の結成と取り組みの報告をしてきました。徳島の会が毎年50名以上拡大目標をたて400名以上になったこと、(どこだったか)民医連の会長の医師が「医療の現場に警察がのりこんできたら医療過誤冤罪が作られる」として守る会の会長を引受けて一生懸命活動している等の報告が印象的でした。

懇親会では、元同僚の看護婦さんだった方が、どんな取り調べを受け、話した内容と違う調書が作られた経過などリアルな体験が話され、勝手ながら茨城にお呼びする「約束」をしてきました。



街頭で宣伝・署名活動を行う大名事務局長と鈴木事務局次長

翌日は、仙台地裁に早期再審開始の要請行動に、代表20名で参加しました。

この日提出した9135筆を合わせて署名は5万筆を突破。全国から一刻も早く再審・無罪にとの世論が広がっています。茨城でも早期に1000筆を集め、次回6月の裁判所要請に持参したいと、決意を新たに杜の都を後にしました。



守大助さんのご両親からお礼状が寄せられました。

前略
先日は息子のため「茨城の会」を結成をしていただきましたことに心から感謝申し上げます。

代表の方が医療関係者の方々と再審完全無罪を勝ち取った皆様がそのまま役員になられたと伺い誇れる守る会と心を強くしてくれました。

阿部弁護団長の話に会場いっぱいの支援者から次から次への質問が飛び桜井さん、杉山さんを社会に取り戻した皆様の力と意気込みに圧倒され目頭が熱くなりました。

三者協議の内容は阿部弁護団長が話した通りですので皆様の無実を勝ち取った支援運動のノウハウを私どもにお貸しいただき支援者とともに力強く頑張っていきますのでどうか今後とも宜しくお願いいたします。

取り急ぎお礼まで
末筆ながら皆様のご活躍をご祈念申し上げます
25・2・25 守 勝男 祐子
追伸
たくさんのお心遣いにご配慮に感謝申し上げます。

◎ お知らせとご協力のお願い ◎

4月9日(火)18時～ 署名・宣伝行動
水戸駅南口にて行います。ぜひご協力ください。

5月7日(火)「再審申立」学習会
事務局対象ですが、どなたでも参加できます。

※ 事件関連の7種類のDVDがあります。ダビングして貸し出しますので、希望される方はご連絡ください。いずれも、水戸翔合同法律事務所(宇野)までお問い合わせください。

「守大助さんを支援する茨城の会」にご入会を!

未入会の方にも送付しております。布川事件に続き、冤罪をなくすたたかいを前進させるために入会をお願いいたします。

仙台・北陵クリニック筋弛緩剤冤罪事件

守大助さんを支援する茨城の会 ニュース

発行：2013年3月28日 第1号

連絡先：〒310-0062 茨城県水戸市大町3丁目1-24 はばたきビル 電話 029-231-4555

守大助さん



「茨城の会」発足総会を開催 大助さんのご両親、阿部弁護団長も参加

報告 岩清水 理 (「守大助さんを支援する茨城の会」世話人)



「殺人事件そのものが壮大な虚構ではないか」(青木理氏・ジャーナリスト。「週刊金曜日」2012.10.19)と報じられている仙台・北陵クリニック筋弛緩剤冤罪事件。2001年1月に逮捕され、布川事件と同じようにウソの自白が強要され、無期懲役判決が確定して千葉刑務所に服役している守大助さん(現在41才)を支援する「茨城の会」が2月23日結成されました。

水戸・青少年会館で開かれた発足総会には会場いっぱいの55名が参加。第一部として逮捕当時から弁護を担当している阿部泰雄弁護士が事件の経過と争点を説明。専門医の鑑定意見から「患者の病変は筋弛緩剤ではなく、

他の病気が原因である」ことが詳しく述べられました。そのうえで「検察の主張」「犯罪報道」の問題点もきびしく指摘しました。会場からは熱心な質問が相次ぎました。

第二部の発足総会の冒頭、千葉刑務所で守大助さんと前日面会してきたご両親のお話がありました。母親の守祐子さんは「2か月ぶりの面会でした。手は寒さであかぎれがあり、はれてグローブのようでした」と述べ、父親の守勝男さんは「布川事件で再審勝利の力をもっている茨城の皆様とともに早く再審開始・無罪、大助の釈放をかちとりたい」涙をこらえて訴えられました。(4ページに後日送られてきた「お礼状」を掲載)

田村武夫国民救援会茨城県本部会長からは「大助さんのお父さんは逮捕当時宮城県警の現職の警察官でした。お父さんは大助さんの無罪を信じたからこそ、定年まで警察官を勤められたのです」と紹介されたのが印象的でした。

総会には、会津若松で全国の支援活動をリードしている栗城英雄さん、千葉守る会の戸賀輝彦さんが参加され、メッセージも15の守る会などから寄せられました。

また結成総会参加者一同の名において「一刻も早く守大助さんの再審開始決定を求める」決議を全会一致で採択し、仙台地裁に届けることにしました。



事件の経過と争点を話す阿部泰雄弁護士



大助さんのご両親、千葉の戸賀さんと参加者のみなさん



会津若松市から参加の栗城さん

守大助さんへ激励の私信を!!

宛先は以下のとおりです。多くの方からの激励をお願いします。なお、秋に予定している千葉刑務所での面会の条件としても、大助さん宛の私信送付が必要です。

〒264-8585 千葉県若葉区貝塚町 192

守 大 助 様

発足総会では会則、方針、体制の提案があり、討議のうえ採択されました。主な活動方針は次の通りです。

- (1) 事件の真実を知るための学習…再審申立書、DVD鑑賞など
- (2) 無実を知らせる宣伝…街頭宣伝、署名活動など（3か月に1回程度）
- (3) 再審開始を求める世論を広げ、裁判所に届ける…署名、要請ハガキなど
- (4) 守大助さんを励ます手紙、ハガキ運動（激励先は上記の通り）
- (5) 秋に大助さん面会ツアーを計画する
- (6) 会員拡大…当面200名をめざす（現在81名）

- (7) 全国の「守る会」及び「全国連絡会」との交流・連帯
- (8) ニュースの発行、ホームページの開設
- (9) 会員相互の交流と連帯…楽しく、明るく活動
- (10) その他、冤罪をなくす諸活動

総会では次の役員が決まりました。ご紹介します。

【代表世話人】 田村 武夫（茨城大学名誉教授） 山川 文男（城南病院院長）

沼田 吉隆（歯科医師） 川崎 敏明（年金組合県本部書記長）

【世話人】 岩清水 理 大内 逸雄 田中 謙吉 横倉 達士 畑沢 信善 柴原 充
堀江 仙三 篠田 孝光 本田 覚

【事務局長】 大名 章文 【事務局次長】 鈴木 謙治

【事務局】 伊部 修二 今井 忠光 今瀬 多実 宇野 美子 金子 直美 小林 栄次
沢原 勇三 桜井 恵子 蛭田 美咲 本田 精一 花山 知宏

3.20 全国連絡会結成1周年記念集会に参加して

「茨城の会」事務局長 大名章文

3月20日、守大助さんを支援する全国連絡会結成1周年を記念した全国集会が仙台市で開かれ、鈴木謙治さんと2人で参加してきました。

集会前の午前11時半から、繁華街で宣伝署名行動を行いました。地元テレビ局が取材する中、10分以上説明した後「考えてみる」と言って別れた男性が戻って署名してくれたり、蔵王町の女性が「私も手伝いたい」と言って電話番号まで書いてくれるなど、嬉しい反応がありました。

集会には全国19の「会」、12の救援会から150名以上が参加し、弁護団7名、守さんのご両親のほか元同僚、友人も参加されました。

記念講演では、阿部弁護団長にジャーナリストの山口正紀さんがインタビューする形で対談し、再審請求のポイントをわかりやすく解説されました。弁護団が提出した新証拠の志田意見書（土橋鑑定で「出た」ものが出るはずがない）や池田意見書（小6女児の症状は筋弛緩剤ではなくミトコンドリア病で説明



全国から多くの支援団体、個人が駆けつけた全国連絡会の集会